

Kamakura Symphony Orchestra

鎌倉交響楽団

第95回定期演奏会



写真:武藤章

鎌倉芸術館大ホール 2010年6月5日(土) 14時開演

[後援] 鎌倉市教育委員会 鎌倉エフエム放送

プロフィール

指揮 / 上野 正博 (うえの まさひろ)



神奈川県生まれ。

'90年、東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。'93年、同大学院音楽研究科指揮専攻修了。

'94年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。

'96年、国際ロータリー財団親善奨学生として、ベルリン芸術大学に留学。その後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として研鑽を重ねる。

'98年、ギリシャ・アテネに於いて、世界的権威あるミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位（1位なし2位）入賞を果たし、併せて「ミトロプーロス・ゴールドメダル」を授与される。

今までに、東京都響、読売日響、東京フィル、東京響、東京シティ・フィル、新日本フィル、神奈川フィル、群馬響、京都市響、名古屋フィル、広島響、札幌響、関西フィル、大阪シンフォニカー響等を指揮し、高い評価を得てきた。特に群響とは10余年に渡り、年間契約を結んでいる。また、国内主要オペラ公演の音楽スタッフとしての信頼も大変厚く、読売日響公演では、ドイツの名匠G.アルブレヒトに指名されてのアシスタント抜擢となった。また自らも、数多くのオペラを指揮している。

海外では、国立ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団定期公演、ウィーン室内管弦楽団のオーストリア・ツアーを指揮してヨーロッパ・デビュー。地元紙にも「的確な棒さばき」と高く評価された。

'06年、ラボラトリウム国際現代音楽祭（ワルシャワ）に招聘され、ショパン音楽院他で指揮。今年7月には渋谷シティオペラで「カルメン」、11月は藤沢市民オペラで「カヴァレリア・ルスティカーナ」を指揮予定。

鎌倉交響楽団第95回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 95th Regular Concert

[指揮]：上野 正博

Masahiro Ueno, Cond.

ブラームス：
Johannes Brahms

悲劇的序曲
Tragische Ouvertüre op.81

ヒンデミット：
Paul Hindemith

交響曲「画家マティス」
Symphonie 'Mathis der Maler'

----- 休憩 *Intermission* -----

チャイコフスキー：
Peter Tschaikowski

交響曲第5番 ホ短調
Symphonie Nr.5 e-Moll

プログラム・ガイド

1. 悲劇的序曲 ブラームス

本日最初に演奏する「悲劇的序曲」は、ブラームスによって作曲された演奏会用序曲です。1880年12月26日、ハンス・リヒター指揮のウィーン・フィルにより、ウィーンで初演されました。

ブラームスは、同時期に同じジャンルで性格が相反する曲を作曲することが多かったことで知られていますが、この「悲劇的序曲」もその一例で、全く正反対の明るく楽しい曲、「大学祝典序曲」が先だって作曲されています。

このようなことから、題名に「悲劇的」とあるものの具体的な「悲劇」を描いた曲ではないと言われますが、作曲当時、親交のあったクララ・シューマンの子息や親友の画家の死など、悲痛さを感じる経験をしており、何かしら作曲家の心に影響があったのではないとも言われています。

楽しい最中にあっても、ふとどこか寂しさを感じる。そんなメランコリーな心の有り様が生み出した名曲です。

2. 交響曲「画家マティス」 ヒンデミット

二曲目に演奏する交響曲交響曲「画家マティス」は、ヒンデミットによって作曲された3つの楽章からなる曲です。1934年3月12日、フルトベングラー指揮のベルリン・フィルにより、ベルリンで初演されました。

この曲は、中世ドイツの画家マティス・グリュネヴァルトンの物語をもとにヒンデミットが台本を執筆し作曲したオペラから、その上演に先立ち、前奏曲やいくつかのシーンから音楽を用いて管弦楽曲に編曲されたものです。

この管弦楽曲の初演は大成功を納めますが、ヒンデミットが当時ドイツで勢力を伸ばしていたナチスから嫌われていたため、オペラ自体は上演禁止となってしまいました。

こうしたナチス・ドイツによるヒンデミット排斥に対して、当時帝国枢密顧問官を務めていたフルトベングラーは抵抗しますが（ヒンデミット事件）、その結果、帝国枢密顧問官、ベルリン・フィルや国立歌劇場の音楽監督等を辞任させられ、ドイツ楽壇から姿を消すことになりました。その後、1935年に和解し、復帰しますが、このことにより、ナチス・ドイツとの関係が、第二次世界大戦後のフルトベングラーに影を落とすことになるのは良く知られているとおりです。今日の私たちには想像することも難しいですが、一つの曲の演奏が政治問題になるような大変な時代に書かれた曲です。

各楽章は次のとおりですが、それぞれ、マティス・グリュネヴァルトンの代表作であるイーゼンハイム祭壇画の絵がモチーフとなっています。

第1楽章「天使の合奏」

オペラの前奏曲の旋律から始まり、3本のトロンボーンによるユニゾンが続きますが、この旋律は古いドイツ民謡「三人の天使美しい歌をうたう」です。

祭壇画では、幼子イエスを抱く聖母マリアのそばで、天使たちが合奏している様子が描かれています。なお、絵の中で一番手前に描かれている天使が奏でている楽器は、チェロの前身の弦楽器ですが、弓の持ち方が少し変わっています。

第2楽章「埋葬」

オペラの終幕の間奏曲があてられている楽章です。祭壇画では、磔の刑に処されたイエスと嘆き悲しむ人々が描かれています。

プログラム・ガイド

第3楽章「聖アントニウスの試練」

オペラの第6幕の曲から作られています。曲名にある聖アントニウスは、祭壇画が設置されている聖アントニウス修道院の名にも冠されていますが、「アントニウスの火」と呼ばれた流行性の疫病に対抗する聖人です。祭壇画では、この聖アントニウスが、様々な怪物に取り囲まれている様子が描かれています。

3. 交響曲第5番ホ短調 チャイコフスキー

本日のメインプログラムとして演奏する交響曲第5番ホ短調は、チャイコフスキーによって作曲された4楽章からなる交響曲です。1888年11月5日に、チャイコフスキー自身の指揮により、ペテルブルグ（現在のサンクト・ペテルスブルク）にて初演されました。

前作の第4番からは11年が経っていますが、この間、チャイコフスキーは主に西欧で生活していました。この曲は、そうした西欧での生活ピリオドを打ち、ロシアに戻って少ししてから作曲されたものであり、チャイコフスキーが敬愛していたモーツァルトの音楽への思慕が込められているといわれています。

この曲の特色として、第1楽章の冒頭でクラリネットが奏でる旋律（＝「運命」テーマ）が4つの楽章全てに現れる循環形式で書かれていることがあげられます。また、第3楽章にスケルツォではなくワルツを置いており、チャイコフスキーの新機軸として評価されています。

各楽章は次のとおりです。

第1楽章 アンダンテ アレグロ・コン・アニマ

先述のとおり、クラリネットの暗く重々しい「運命」の旋律から始まります。

第2楽章 アンダンテ・カンタービレ、コン・アルクーナ・リチェンツァ

この楽章では、弦楽器の導入後、甘美ながらも端正かつ哀愁を帯びた旋律のホルン独奏があります。

第3楽章 ワルツ アレグロ・モデラート

通常のスケルツォにかえて、夢幻的なワルツを配しています。

第4楽章 フィナーレ アンダンテ・マエストーソ アレグロ・ヴィヴァーチェ

長調の「運命」のテーマから最終楽章は始まります。この楽章は雄大感にあふれ、全曲を通じて、この交響曲が、ベートーベンの交響曲第5番と同様に、『「苦悩」から「歓喜」へ』をテーマとしていると思わせるものとなっています。

(F g K. M)

団員出演者名簿

団長：山本 賢二
ライブラリアン：石橋 智子

コンサート・マスター：五味 俊哉
事務局長：田中 幸一
会計：曾根 民子

マネジャー：芥川 敬/今城 信彦
桐本 圭三/鈴木 美緒
蛸島 茂樹

1st Violins

青木 淑子
石川 雄太
梅原 哲郎
大野 孝士
栢原 穂貴
川西 清美
桐本 圭三
五味 俊哉
●白水 千晶
鈴木 渉子
鈴木 政彦
曾根 民子
多田 廣之
馬場 潔子
二川 賢一
●本山 まり子
山岡 祐介
油谷 伸一

2nd Violins

新井 俊成
石川 静
石橋 智子
岩谷 かおり
小川 穰
●河原 寛
河原 勢津子
五味 晶子
佐藤 理洋
菅井 直介
関口 杏奈
中橋 美木子
長谷川 眞優
●福山 彩子
望月 由佳子
八木 育江

Violas

阿部 明美
石川 まり
梶 成彦
梶原 庸子
●佐々木 敬史
高橋 良子
中川 孝之
中村 文江
中村 恵
古屋 眞菜
正木 基身
三門 サカエ
●水上 清

Violoncellos

●飯田 達男
岩本 富美雄
梶 淳子
佐藤 洋子
兼重 寿夫
鈴木 達広
中井 良樹
中野 太一朗
三川 有子
毛利 史子

Contrabasses

大内 達郎
佐藤 正
●中村 安孝
原 宏造
●福島 晋哉
丸 陽子
矢野 健
渡辺 均

Flutes & Piccolo

菊竹 秀夫
●曾根 美樹
瀬島 美奈子
高橋 弘子
高畑 裕恵

Oboes

●桑野 若菜
清水 里美
中橋 英純
山寄 一哉
山本 賢二

Clarinets

内田 千枝子
片山 眞知子
鈴木 美緒
●前沢 実
望月 俊哉
山崎 潤

Bassoons

富井 一夫
三原 一真
●矢吹 紀子

Horns

芥川 敬
市川 靖
白井 賢司
菊地 信子
宮崎 敏幸
山崎 和之
●山田 克彦

Trumpets

後藤 三穂子
竹内 純子
津金 勝枝
浜野 耕平
●福地 稔栄

Trombones & Tuba

有賀 功
●桜井 貴志
府川 創作
○煤孫 さえ子

Percussion

今城 信彦
●太田 純
高橋 正彦
蓑田 俊之

●：パートリーダー

○：団友

※：賛助出演

Implant Center KAMAKURA



田中歯科御成町

インプラント・審美歯科

鎌倉駅西口みずほ銀行向かい・勝烈庵2階

TEL&FAX 0467-24-0882 <http://www.tanaka-dc.com/>

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

♪第49回室内楽演奏会

日時：2010年7月25日(日)14時開演予定
場所：鎌倉生涯学習センターホール 入場料 無料
曲目：小編成のアンサンブルを予定しています。

♪第96回定期演奏会

日時：2010年11月13日(土)14時開演予定
場所：鎌倉芸術館 大ホール 入場料：¥1,000- (全席自由 当日券有予定)
指揮：井崎 正浩
曲目：ウェーバー 歌劇『魔弾の射手』から序曲
コダーイ『ハリーヤーノシュ組曲』
シューマン 交響曲第3番『ライン』

<http://homepage2.nifty.com/kso/>

HAIR SALON

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(やのやビルB1)
TEL.(0467)22-4105

和風居酒屋 花のれん

◇営業時間◇

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



信頼と確かな技術の店
メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
お気軽に。



- 遠中近多焦点レンズ
 - 中近多焦点レンズ
 - 近近用レンズ
- あなたに合ったメガネ
を御調製致します。



TAKUZO

弦楽器工房 拓蔵

弦楽器製作・修理・販売

神奈川県横浜市港北区
篠原町1497-11

TEL&FAX: 045-423-4233

■営業時間: 10:00~19:00

※10:00~13:00 予約制

■定休日: 日・月・祝祭日



vn-takuzo.com



健保・労災取扱

大船
接骨院

佐藤和義

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門

全国すぐ
郵送します。



KAMAKURA
MUSIC

(株)カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

FAX.0467-22-9755

〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33

定休日 = 日曜日・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか?
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307

川下方 TEL 045-865-4885

片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壱番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273

鎌倉といえば...

鳩サブレー



豊島屋

鎌倉八幡宮前通り
TEL 0467-25-0810(代)

世界で一番小さいデパート

アトリエ K&T (わや)

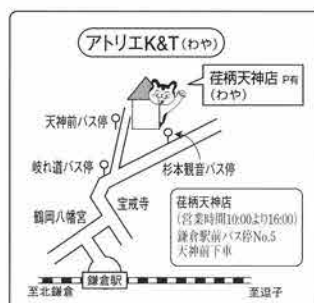
「食料品から衣料品まで」



古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、
両手いっぱいにあります！

営業時間/10:00 ~ 16:00
〒248-0002 鎌倉市二階堂38-9

営業日/木、金、土
TEL.0467-24-5918



フリーダイヤル 0120-50-2615
<http://homepage3.nifty.com/k-t/>



Bank of Yokohama

Afresh あなたに、あたらしく。

横浜銀行

鎌倉支店

TEL:0467-23-3131

《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/AM10:00~PM7:00 (日・祭休み)